

JAM2025 ライトニングトーク

※ライトニングトークとは：ご自身の映像アーカイブや映画保存等に関わる取組を3分で発表いただきます。
おかげさまで今年は19本のライトニングトークが集まりました。発表順番は以下のとおりです。

①前篇 7枠(13:40-14:10)

順	タイトル	氏名	所属／肩書
1	映像作家におけるビデオテープの再生・管理について	奥野 邦利	日本大学芸術学部映画学科 教授／映像作家
2	長期保存用デジタルフォーマットへの変換～miniDVからMKV～	中西 智範 長谷川 智弘	国立映画アーカイブ IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
3	プロジェクト紹介 ラーニング・ワークショップ「放送博物館」で考えるアナログ技術のこれまで・これから 催事報告	石本 華江	慶應義塾大学アート・センター土方翼アーカイヴ 学芸員
4	忠臣蔵映画の2次活用以後を巡る調査の現況	羽鳥 隆英	熊本県立大学文学部日本語日本文学科・准教授
5	硝酸セルロース映画フィルムの安全かつ現実的な保存方法の確立に向けて	荒木 臣紀	奈良国立博物館(併)文化財防災センター／ 上席研究員
6	映画用フィルムへのATPふき取り検査の応用 -1年間の有効性検証とIPM視点でのリスク評価と可能性-	伊藤 諒司	IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
7	TACフィルムの劣化に関する研究史調査と保存科学的見地から考察する最適な保管条件	石井 昭光	株式会社足柄製作所

②*後篇 6枠(16:20-16:50) *続くvideo発表も含めると、後篇の時間は多少延長する予定です。

順	タイトル	氏名	所属／肩書
1	6千万の胸騒ぎ『紅い眼鏡』クラファン4K修復顛末記	山下 泰司	フリーランス
2	FILM座の試み 昨年度の上映報告と今後の活動について	神田 麻美 岩本 知明	映写技師
3	市民のまなざしが地域を繋ぐ、ホームムービーによる「地域映画」のこれから	三好 大輔	アルプスピクチャーズ代表 映画監督
4	木下恵介記念館の映像資料の保存／活用状況について(仮)	稲垣 知里	木下恵介記念館 アートコーディネーター
5	八戸地域映像アーカイブの可能性 ～北東北の記憶を巡る～(仮)	戴 周杰	八戸工業大学感性デザイン学部 助教
6	全国映画資料アーカイブサミットについて	佐藤 友則	特定非営利活動法人映像産業振興機構

③video発表 6枠(後篇の現地発表の後に投影します)

順	タイトル	氏名	所属／肩書
1	記録と表現のあわいで 一異なる立場からの関わりー	竹中 美幸	美術作家
2	16mmフィルム<表情1970> デジタル化について	奥本 末世	大阪歴史博物館 学芸員
3	ホームムービーデーin葉山 一地域の8ミリフィルムの活用とその上映ー	高木 雛	シネマチエルキオ葉山
4	約100年前のフィルム デジタル化と保存および活用について ～自治体による活用と長期保管をどう考えるか 奈良県上北山村『昭和3年の記録』	藤本 圭子	奈良県上北山村・元地域おこし協力隊
5	タイ・フィルムアーカイブにおけるカタログニングの問題について	吉田 夏生	トロント州立大学修士課程
6	「全国映画資料館録」2025年版の刊行に向けて	岡田 秀則	国立映画アーカイブ 主任研究員